

令和3年度

校長室だより2月号 No.10

宝達志水町立押水第一小学校 R4.2.28

冬の寒さも少しずつ和らぎ、春の訪れを体感できるようになってきました。

過日行われました6年生を送る会ではどの学年も3密を回避しつつ心のこもったプレゼントや言葉を卒業生に贈っていました。これも子どもたちの1年間の学習の成果の表れではないかと感慨深く見守っていました。



さて、今年度も最後の1か月を残すのみとなりました。それぞれの学年では、進級・進学に向けて本年度のまとめを行っています。振り返ると令和3年度も新型コロナウイルスの感染対策においては気が抜けない状況が続きました。とりわけオミクロン株の蔓延に伴い学校をはじめ教育現場がこの未曾有の感染拡大の事態に戸惑いと試行錯誤を重ねる中、できるだけ通常に近い学校運営ができるようにして参りました。コロナ禍においても通常授業や各種学校行事が実施できたのもひとえに家庭や地域の皆様のご理解・ご協力の賜だと感謝しております。

そしていよいよ、来月3月17日には卒業証書授与式、24日には修了式を控えます。卒業まで約2週間、押水第一小学校の最高学年として活躍した6年生は、これから本格的に卒業式に向けた練習が始まります。旅立ちに向けた小学校での最後の活動に精一杯取り組んで欲しいと思います。6年生の中には、小学校生活への愛惜と中学校生活への期待が交錯し、何かと感慨深い複雑な思いを抱いている児童も多いようです。

また、1年生から5年生の子どもたちの心の中にも、進級を前に期待と喜び、そして少しの不安が入り交じっているように感じます。進級や進学を控えたこの時期にこそ、新年度を見据えて大切に過ごしてほしいものです。子どもたち一人ひとりが「有終の美」を飾れるように、本年度の頑張りや成長を認め、また課題等についても前向きに取り組めるようにご家庭におきましても励ましの言葉かけをお願いします。

最後に1年間、本校の教育活動に多大なご支援とご協力をいただきました保護者の皆さま・地域の皆さまに心より感謝申し上げます。今後とも子どもたちの健全育成を目指し、見守り等よろしく願いいたします。

6年生を送る会 盛大に開催いたしました

2月25日（金）5限目、令和3年度の6年生を送る会を開催いたしました。今年度は、新型コロナウイルス関連で、地域の皆様、保護者の皆様には、ご来校して頂けなくなり残念でしたが、子どもたちは、とても頑張ってお自分たちの考えた演技をステージ上で繰り広げていました。どの学年にも工夫があり、甲乙つけがたい出来栄の良さでした。

当日のお子さんの様子を撮影したDVDがお手元に届くようにいたしますので、保護者の皆様におかれましては、是非、ご覧いただけますようお願いいたします。

6年生入場



午後2時、定刻通りに6年生が入場してきました。

少し恥ずかしそうに照れくさそうにしているのが、彼ら彼女らしいところでもあります。

去年の今頃は、この行事の主催者として進行する側になっていました。今年は、招待される側でもあり、楽しんでもらえるといいのですが、と言う思いをしている在校生、特に5年生の様子も印象的でした。

1年生 英語劇「大きなかぶ」



6人で「大きなかぶ」の劇をしました。

標題は英語劇でしたが、時々、日本語を交えて、全校児童にも、職員にも、ストーリーがわかるように工夫がしてありました。

日頃から元気はつらつの1年生です。この日もいつものように元気いっぱい、セリフも体育館中響き渡るような声で演じていました。

2年生 「パーミッション トウ ダンス」



人前では、少し恥ずかしがりやになってしまう2年生ですが、今回、前半の体操演技、後半にダンスは、いずれものびのびと自分たちの演技を披露していました。

♪「パーミッション トウ ダンス」♪ に合わせて、楽しそうに踊りまくる2年生は、とても明るい表情でした。

3年生 「思い出いっぱい小学校」



3年生は、とてもユニークな劇をしました。

動物の奥さんに扮して、小学校や地域のことについての情報交換を路線バスの中で行っています。吊革につかまってバスの揺れを感じつつ、お母さんになりきって、お母さん言葉で演技をしていました。

お母さん言葉を完ぺきにこなし、会場の笑いを誘っていました。でも、出番を待つ間は、とても緊張していたそうです。

4年生 「羽ばたけ 未来へ！」



6年生への感謝の気持ちを込めて、詩の群読「6年生は中学生」や「ツバメダンス」を披露しました。

4年生は、6年生に謝意が伝わるように一生懸命練習してきたそうです。本番では、その成果が出てよかったです。

終了後、4年生は自主的に後片付けをしてくれました。誰かに言われたということではなく、自主的に学校に貢献する姿を見せてくれ、次年度からの高学年としての期待感が、もう高まってきました。

5年生 「お迎えがきた」



この1年間で本当に成長した5年生です。

6年生を送る会では、運営する場と演技をする場とをうまく使い分けていました。

運営する場では、学校全体のことを考えて準備をし、また調整していました。右上の写真は、6年生の演技中、6年生一人ひとりの写真を手にして、応援している様子です。そういう細やかな配慮ができるように育ってきたことについてはとても感心できます。

演技については、竹取物語のパロディ偏で、竹から生まれた主人公が、最終的には中学校からの使者に連れていかれるというストーリーですが、ここで、友情出演で卒業生が登場します。粋な計らいにとっても感動しました。

6年生 「10年前にタイムスリップ ～上杉先生を救え～」



卒業してから10年が経過し、上杉先生が、学校の先生をやめているという設定でストーリーは、始まります。なんとか上杉先生が、学校の先生でいられるように教え子たちが頑張ります。

6年生、一人ひとりの個性が劇にうまく反映されています。在校生に、6年生らしい劇を見せてくれました。そして、劇中には、1分間に縄跳びの八の字跳びを100回以上跳ぶという設定も見事クリアし、会場から大きな拍手をもらっていました。

6年生 退場



在校生、職員に見守られて6年生が退場していきました。とても晴れやかな表情をしていました。

この日を境に、6年生は、卒業に向けての準備が本格的に始まります。最後は、6年生らしく有終の美を飾って下さい。